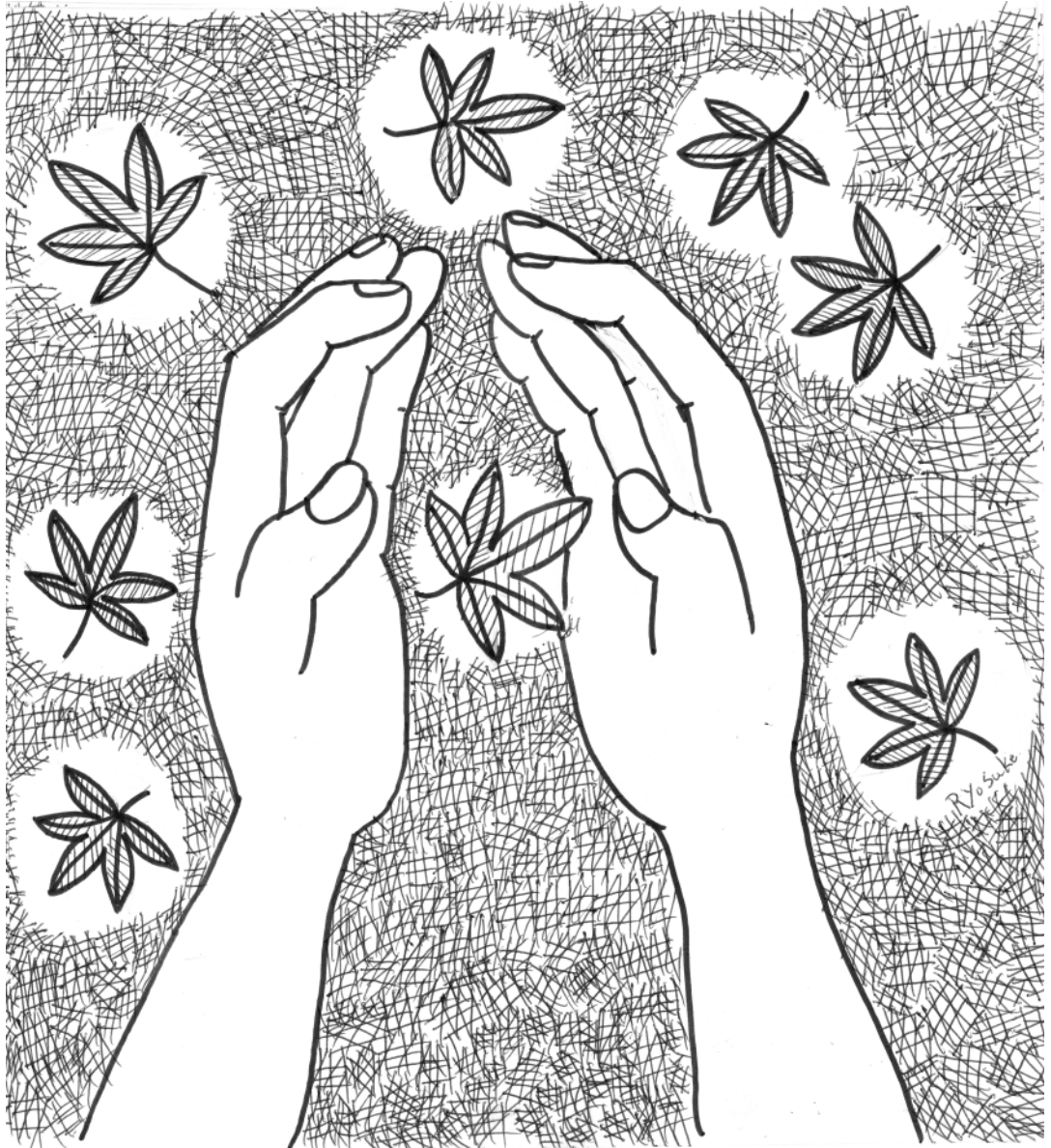


こがねい

放射能測定室だより

小金井市放射能測定器運営連絡協議会



イラスト：中学2年生 菊地亮介

- 事故から3度目の夏が過ぎて -

ことのほか厳しい暑さが続いた2013年の夏も過ぎようとしています。あの福島第一原子力発電所の事故から早くも2年半もの時間が経ちました。振り返ってみれば、事故以前の日々は別の世界のように遠く感じられ、事故後を生きる私たちは背負ってしまった荷の重さから逃れられない現実の中にいるのだ、ということであらためて思い知らされています。

この夏はまた、「汚染水の漏洩・流出」から目の離せない毎日を過ごさなければなりませんでした。今、こうしている間にも汚染水は絶え間なく海洋を汚し、汚染は拡がる一方です。この先、どれほどの汚染を経験することになるのか、どうしたら汚染から身を守っていけるのか、これ以上の核汚染を避けるにはどうすればよいのか、大きな問いを私たちは諦めることなく追っていかざるを得ません。私達協議会の続けている「自身の手で身近な食べ物を測っていく」という活動も、常にその問いと共に在ると言えるでしょう。

被災地では、もうすぐ3度目の冬が訪れます。自宅を離れてまた冬を迎える方々、不安を抱えながら現地で生活する方々、厳しい環境のなかで生産や漁に携わる方々のことが思いうかびます。チェルノブイリを最後にするべきであった「深刻な原発事故」は、ほかならぬこの国で起きてしまいました。協議会では、この地道な測定活動が小さいながらも、原発からの卒業を実現させていく力のひとつとなることを強く望んでいます。

一方、長い間私達と伴走してきた測定器は、購入・設置から23年が経過し、部品の交換も難しくなっています。この測定器が寿命を迎えた際の測定継続については、いずれにしても考えていかなければなりません。その日が来ないことを祈りつつの測定が続いていますが、今まで通り「協議会会員が自身の手で測定し、結果を公開していく」というスタイルを守っていきたい、というのも私達の数ある望みの一つです。

私達協議会のホームページをご覧になったことがありますか？測定結果のほか、測定以外の活動も紹介されています。ぜひホームページへおいで下さい。お待ちしております。

2013年 夏を送る頃に

小金井市放射能測定器運営連絡協議会
会長 香田頼子

小金井市放射能測定器運営連絡協議会 公式サイト
<http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com>

「原発の街で 40年」 - 福井 原発銀座の住職のおはなし - 6/22 中嶋 哲演氏講演会を開催しました

15基もの原発が立ち並び福井県、若狭湾。国の原子力規制委員会により、直下に活断層があると指摘されている「敦賀原発」や、最近一万件に及び点検漏れが発覚した高速増殖炉「もんじゅ」もここにあります。原発銀座と言われるこの地で、長年に渡り地域のリーダーとして原発反対の運動を続けてこられた、中嶋 哲演氏の講演会を協議会主催で開催しました。今回は住職のお話という事もあってか、少し年齢層の高い方に多くご参加いただきました。



「末期の眼で観ているような」

お話は若狭湾周辺地域に原発が次々に立地していく中、小浜市がどのようにして原発立地に反対しはねつけてきたかの生々しい経緯が中心となりました。また、福島事故があった際には、原発が集中する若狭湾周辺に住む者として、自分たちの街もいつか災害に見舞われる事を意識し「末期の眼で観ているような気持ち」と表現されました。



脱原発のために、都市部の人間がすべきことは

哲演氏は、「原発を止めていく為に、わたしたち都市部の住民はこれからどういう行動をしたらよいでしょうか?」という質問には次のように答えています。

哲演氏:小浜市や福島県浪江町、他にも原発を押し付けられた地域はユニークな戦い方をしています。市町村レベルの必死になった地を這うような運動の仕方、体験を共有してもらい、都市部の方々もそこから闘い方を学びとっていただきたい。原発推進の立役者に根本的な責任もある、必要神話、安全神話を普及してきた行政、大企業にも責任があるが、本当にそれだけでしょか?大量輸送、大量消費、大量廃棄の便利で豊かな生活を享受してきた、この問題の責任がどこにあったか、わたし達には毛筋ほどの責任がないと言って果たして原発は止まるでしょうか?この講演でお話したことを踏まえて、これからみなさんがどういうアクションをしていただけるかにかかっています。わたしは時間がないと思っています。東海地震、南海トラフもしかり、本気になって国に思い知らせていくべきではないでしょうか。

中嶋哲演氏(なかじま てつえん)

1942年福井県小浜市生まれ。1200年以上の歴史を誇る小浜市、真言宗寺院・桐山明通寺の住職。

「原発設置反対小浜市民の会」を結成、事務局長を務める。

協議会のHPブログでは当日の録音データも公開しておりますので、興味のある方は是非お聞き下さい。

<http://koganei-sokutei.seesaa.net/article/368660329.html>

【2012年10月～2013年9月】10Bq/kg以上の測定結果

測定日	測定品目	産地	測定結果(Bq/kg)
1/22	タラ	岩手県	13.10
4/12	どくだみ	市内	13.95
4/16	たけのこ	市内	10.88
4/16	どくだみ(全草)	市内	110.76※1
7/2	どくだみ(全草)	市内	87.11
7/2	乾燥どくだみ	東京都板橋区	71.90
7/5	青じそ(全草)	市内	20.95
8/2	どくだみ(乾燥)	市内	10.36
8/7	干しいたけ(乾燥状態)	千葉県市原市	195.08※2
8/22	製茶	静岡県	59.23
8/30	生しいたけ(原木)	静岡県	12.19

*測定結果はセシウム134とセシウム137の合計です (Bq/kg)

*検体は洗浄・未洗浄に関わらず依頼者が持ち込んだ状態で測定しています

*10(Bq/kg)が検出限界(数値測定できる下限値)です

※1 ドクダミは雨樋の下に自生しているものを採取し、市民が持ち込んだ生の状態をそのまま粉砕し測定しています。

※2 干しいたけは乾燥状態の場合、厚労省の基準値は適用されません。

下記測定結果の公表を控えます。ご了承ください。

10/17しそ(大葉・実入り)(市内)…測定器への入力ミスのため

4/3緑茶(日本) 7/24やまもも(市内) 7/31きゅうり(宮城県)…測定容量不足のため

【2012年10月～2013年9月】10Bq/kg未満検体 月別一覧 (数字は測定日)

10月	/2 納豆(日本) /2 全粒粉(2012.4.11 製造)(日本) /3 レンコン(茨城県) /3 水道水(市内) /5 さんま(北海道・青森沖太平洋) /5 熟成ぬか床(日本) /10 牛乳(北海道十勝地方) /10 いか(青森県) /12 スキムミルク(北海道産生乳) /12 はったい粉(日本) /16 麦こがし(日本) /16 うぐいすきな粉(日本) /17 しそ(大葉・実入り)(市内) /17 パン用米粉(日本) /19 甲州ぶどう(山梨県) /19 じゃがいも(市内) /23 米(市内) /23 玄米(市内) /24 栗(渋皮つき)(市内) /24 すだちジュース(日本) /26 プロテイン(粉末状)(日本) /26 さつまいも(ふかした状態)(日本) /30 抹茶(日本) /30 舞茸(新潟県魚沼市) /31 みかん(東京都調布市) /31 たまねぎ(日本)
11月	/2 栗の渋皮煮(東京都あきるの市) /2 柿(山形県) /6 白米(新潟県魚沼市) /6 玄米(福島県会津地方) /7 米ぬか(滋賀県) /7 麦茶(不明) /9 干しいも(茨城県) /9 小麦粉(長野県長野市) /13 じゃがいも(東京都小平市) /13 柿(市内自宅庭) /14 手打ちうどん(東京都清瀬市) /15 柿(市内自宅庭) /16 塩こぶ(不明) /16 みかん(不明) /20 ゆず(埼玉県上尾市・家庭菜園) /20 里芋(埼玉県上尾市・家庭菜園) /21 さつまいも(埼玉県上尾市・家庭菜園) /21 柿(市内) /27 米飯(五分づき)(神奈川県相模原市) /27 米飯(茨城県) /28 柿ジャム(自家製)(柿:市内自宅庭) /28 米(北海道) /30 レンコン(茨城県) /30 ウィンナーソーセージ(不明)
12月	/4 みかん(熊本県) /4 オレンジジュース(不明) /5 梨(栃木県) /5 キウイ(栃木県) /7 原木しいたけ(群馬県) /7 春菊(埼玉県) /11 りんご(岩手県) /11 みかん(埼玉県上尾市・家庭菜園) /12 栗(しぶ皮煮)(茨城県) /12 白米(新潟県柏崎市) /14 柿(福島県) /14 りんご(皮つき)(福島県) /18 柿(不明) /18 白米(新米)(山形県東田川郡・余目) /19 白米(秋田県三種町) /19 レンコン(茨城県) /21 山菜わさび漬(不明) /21 りんご(東北地方) /25 白米(静岡県静岡市・新聞) /25 原木しいたけ(東京都青梅市成木) /26 酒かす(不明) /27 にんじん(千葉県)

1月	/8 せんべい(岩手県) /8 シリアル(日本) /9 米(宮城県柴田郡) /9 甘えび(北海道) /11 生しいたけ(千葉県) /11 いずし(紅鮭)(北海道) /16 製茶(狭山茶)(埼玉県狭山市) /16 抹茶入り製茶(日本) /18 大根(市内) /18 エリンギ(福島県いわき市) /22 プリ(不明) /23 豚肉(埼玉県) /23 米ぬか(日本) /25 鮭(北海道) /25 水(千葉県) /29 米(宮城県岩沼市) /29 米(宮城県名取市) /30 すけそうだら(北海道) /30 牛肉(日本)
2月	/1 あしたば(東京・神津島) /1 かぶ(千葉県) /5 白菜(新潟県・家庭菜園) /5 生わかめ(宮城県石巻市) /6 もやし(茨城県) /6 鶏肉(日本) /8 プリ(養殖)(鹿児島県) /8 さけフレーク(北海道) /13 乳酸菌飲料(不明) /13 たまご(東京都瑞穂町) /15 ウエハース(愛知県犬山市) /15 小麦はいが(日本) /19 サニーレタス(千葉県八千代市・家庭菜園) /19 大根(千葉県八千代市(家庭菜園)) /20 いか(千葉県・釣ったもの) /20 乾うどん(不明) /22 あん肝(新潟県佐渡市) /26 お魚ソーセージ(不明) /27 ローズマリー(市内) /28 牛肉(北海道)
3月	/1 米飯(秋田県) /1 みそ(不明) /5 小いわし生姜煮(日本) /5 菌床しいたけ(中国) /6 枝豆(北海道) /6 小麦粉(全粒粉)(千葉県成田市) /8 しいたけご飯(不明) /8 真サバ(神奈川県) /12 牛肉(栃木県) /12 フルーツ缶詰(青森県・山形県) /13 里芋(千葉県) /13 大根(千葉県) /15 にぼし(瀬戸内海) /15 粉ミルク(不明) /19 乳酸菌飲料(白桃)(不明) /19 シリアル(不明) /22 生しいたけ(長野県) /22 生卵(福島県) /26 鶏肉(山形県) /26 鶏肉(宮城県白石市) /27 粉ミルク(不明) /27 おから(北海道) /29 ヨーグルト(福島県福島市) /29 製茶(埼玉県狭山市)
4月	/2 菜の花(東京都荒川区) /2 ちくわ(不明) /3 ふきのとう(長野県) /5 サワーチェリージャム(オーストリア) /5 ブルーベリーゼリー(東北産) /9 シリアル(不明) /9 切干大根(岩手県) /10 のぶき(市内) /10 菜の花(群馬県みどり市) /12 ゆきのした(市内) /17 玄米(福島県) /17 はこべ(市内) /19 お茶の葉(東京都武蔵野市) /19 夏みかん(東京都武蔵野市) /23 水道水(市内) /23 母乳(市内) /24 甘夏みかん(市内) /24 にじます(養殖)(宮城県) /26 ラフランスジュース(山形県) /26 たけのこ(ゆで)(千葉県) /30 生茶葉(東京都武蔵野市) /30 どくだみ草(市内)
5月	/1 たけのこ(市内) /1 小麦粉(熊本県) /7 ニジマス甘露煮(埼玉県) /7 おぼろ昆布(北海道) /8 干しさば(千葉県) /8 ちりめんくるみ(茨城県) /10 小麦粉(熊本県) /14 漬物用加工ぬか(日本) /14 どくだみ(生葉)(市内) /15 たけのこ(市内) /15 ラジウム玉子(福島県飯坂町) /17 米ぬか(イセヒカリ)(埼玉県北埼玉郡大利根町) /17 そうめん(富山県) /21 米ぬか(イセヒカリ)(埼玉県北埼玉郡大利根町) /21 揚げかまぼこ(宮城県塩釜市) /22 ネギ(埼玉県上尾市) /22 フキ(埼玉県上尾市) /24 ブロッコリー(埼玉県上尾市) /24 柿の葉(不明) /28 ごごみ(新潟県魚沼市六日町) /28 桑の実(市内) /29 水道水(群馬県川場村) /29 湧き水(群馬県川場村) /31 桑の実(市内) /31 お好み焼き粉(日本)
6月	/4 ローズマリー(市内) /4 沢の水(群馬県川場村) /5 ブロッコリー(東京都国立市) /5 ジューン・ベリー(市内) /7 ママレード(神奈川県) /28 はちみつ(東京都)
7月	/3 ほうじ茶(日本) /3 水道水(市内) /5 梅酵素(日本) /9 ローズマリー(市内) /9 精米ひとめぼれ(宮城県栗原市) /10 精米こしひかり(宮城県魚沼市) /10 精米あきたこまち(秋田県) /12 ミント(国立市) /12 レモンバーム(市内) /16 こんにゃく(群馬県) /16 麦茶(宮城県) /17 わらび(山形県) /17 大根(市内) /19 新じゃが(市内) /19 お茶(飲用)(東京都府中市) /24 さくらんぼ(山形県) /26 製茶(静岡県) /26 ルバーブ(市内) /29 離乳食(日本) /30 梅ジュース(2013年)(東京都三鷹市) /30 梅ジュース(2011年)(東京都三鷹市) /31 干しいたけ(水戻し)(千葉県市原市)
8月	/2 青じそ(市内・家庭菜園) /6 はとむぎ(岩手県) /6 なす(市内) /7 よもぎ(世田谷区・自宅庭) /9 大麦乾麺(大麦粉:富山県 小麦粉:アメリカ、カナダ) /9 ローズマリー(市内) /21 マコロン(落花生)(千葉県) /21 レンコン(茨城県) /22 蒸し大豆(北海道) /23 背黒めざし(千葉県) /23 なめたか(れい)干し(北海道) /27 白桃(缶詰)(日本) /27 飲料茶(静岡県) /28 乾燥しいたけ(原木)(九州) /28 にぼし(日本) /30 水戻しいたけ(千葉県市原市)
9月	/3 ローズマリー(市内) /3 シリアル(不明) /4 しじみ(東京都) /4 舞茸(新潟県) /6 パン粉(不明) /6 みそ汁の素(不明) /10 おかき(もち米:日本) /10 そば茶(不明) /11 にじます(神奈川県丹沢) /11 水道水(市内) /13 青じそ(乾燥)(市内) /13 乾そば(新潟県) /17 かぶ(市内) /17 巨峰(福島県福島市) /18 椎茸入りうどん(不明) /18 素麺(香川県) /20 つるむらさき(市内) /20 空芯菜(市内) /25 玄米グラノーラ(不明) /25 とちのめせんべい(不明) /27 栗(市内) /27 長ねぎ(千葉県)

2011年から2年半 - 測定結果から見えること思うこと -

原発事故をきっかけに入会し、昨年からは測定も担当している新米メンバーからの報告です

■セシウム134の減衰

セシウムのような放射性物質は、特に除染をしなくとも「崩壊」しながら線量は減っていきます。2013年9月現在、セシウム全体量としては計算上では事故直後の6割ほどに減っています。セシウムには134と137という2種類がありますが、このうちセシウム134が2年ほどで半分の量まで減る(半減期)ためです。測定室ではセシウム合計10Bq/kg以上の検出を公表することにしてはいますが、昨年10月から今年9月までの測定結果をみると、10Bq/kg以上の検出となったのは10件ほど。それはこのセシウムの減衰のためだと思われます。

■検出されたもの

2012年10月～2013年9月までにセシウム濃度が検出された検体は、「タラ」「干し椎茸」「生しいたけ」「製茶」「竹の子」「どくだみ」「青じそ」です。

「タラ」

海洋汚染はこれからピークを迎えるといわれています。食物連鎖によって今後も魚介類からの検出が懸念されます。汚染の検出したタラはスーパーで購入された岩手産の流通ものでした。

「干し椎茸」「製茶」

測定室では、検体は依頼者の要望のまま測定しています。干し椎茸は戻し汁と椎茸の両方を料理に使うので、乾燥状態で測りたい、製茶もお菓子や料理に使ったり、粉碎して食べるということから、飲用状態ではなくお茶の葉のまま測定しました。

原発事故前にも干し椎茸からはセシウム137が検出されていました。これは1950～60年代の核実験や1986年のチェルノブイリ事故の影響と思われる。私たちの測定室でも事故前の2010年度に国産干し椎茸から12ベクレルが検出されています。

「竹の子」「どくだみ」「青じそ」

いずれも流通品ではなく野生の竹の子、家庭菜園のどくだみと青じそでした。酵素ジュースや化粧水をつくる、お茶にするなど事故前なら問題なく手作りしていたが今はどうなのか？と心配しての申し込みでした。汚染が検出された現実、まだ事態は収束していないことを訴えているようでした。

■測定を続けること

測定回数は週6回(火、水、金、各2回)のまま続けています。2012年度の測定回数は292回。福島第一原発から高濃度汚染水の流出や食物連鎖による濃縮など、放射能の危険からはまだまだ解放されません。汚染食品の流通の抑制とともに放射性物質が身近に存在している、という現実を確認するためにも、私たちはコツコツと測定を続けていく必要があると思っています。現在それほど待たずに測定予約がとれますので、ぜひ市民の方々は気になる食品を測定してみてください。(矢澤朋香)

小金井市の給食食材の測定について

■現在は市役所にて給食食材の測定を行っています

市内の保育園・小中学校の給食食材の放射能測定は、1991年8月から協議会でやってきましたが、2012年9月からは小金井市が消費者庁から貸与された測定器を使って市役所本庁舎内、地域安全課で測定しています。結果は小金井市のHPで「給食食材の放射性物質検査結果」として公表しています。

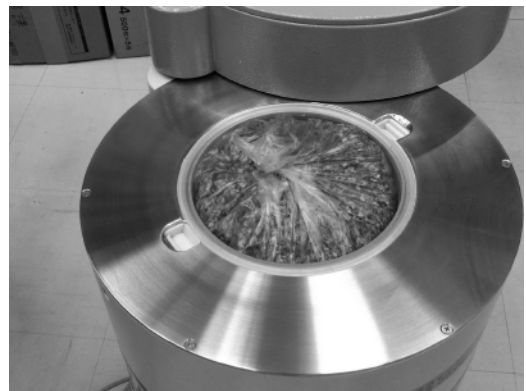
協議会では昨年10月と本年8月に、市役所本庁舎内の貸与測定器での測定の様子を見学させていただきました。

■測定は週に16検体

測定器はATOMTEX AT 1320C(株式会社アドフューテック)というNaI(Tl)シンチレーション検出器です。測定下限値は、セシウム134とセシウム137の合計が10Bq/kg以下になるように設定されています。

測定は女性2名が専属で行っています。その日の検体を各保育園等や学校に測定員が受け取りに行き、1リットル分の検体を細かく切るなど測定できる状態にして測定。測定後の検体は、学校などのコンポストに持って行って廃棄する、という流れで仕事をされています。

保育園等は毎週月・火曜日、小・中学校は毎週木・金曜日に各日4検体ずつ測定しています。小金井市では使用前に食材ごとに測定しています。



測定した結果、10Bq/kg以上の食材があった場合は、その食材は給食には使用しない方針になっています。これまでに市の給食測定で10Bq/kg以上検出されたものは下記の4検体となります。

2012年

10/29 れんこん(茨城産) 13.79Bq/kg

10/30 舞茸(群馬産) 11.48Bq/kg

2013年

4/16 白桃缶(山形産) 11.76Bq/kg

7/29 舞茸(群馬産) 12.56Bq/kg

会員募集中

小金井市放射能測定器運営連絡協議会の活動は、ボランティアの会員によって行われています。協議会では、現在会員募集中です。現在会員は20名程度、毎月の定例ミーティングでは、測定結果の詳細な内容などを確認したり放射能問題に関する情報交換等も行っています。測定は各自出来る範囲のスケジュールで交代で行っています。測定員にならなくても、WEBや事務作業その他の作業などを分担する場合があります。自ら測定したり、情報交換する事で、放射能についての知識が深まります。原発、放射能問題に関心の高い方は会員になってみませんか？ 興味のある方、ご質問のある方は下記までご連絡下さい。

・年会費:1500円

・基本的に、月一回のミーティングに参加出来る方

・まずは測定室やミーティングをご見学いただき、その上で考えていただく事も可能です

小金井市放射能測定器運営連絡協議会事務局

電話番号：042-384-0053（香田 頼子）

e-mail：koganei.sokutei@gmail.com

公式サイト：http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com/

測りたい食品 募集中

小金井市に在住・在勤・在学の方で、気になる食品の放射能測定をしたい方はどなたでも無料で利用出来ます。下記の手順で小金井市役所経済課にお申し込み下さい。(非営利目的に限ります)



●検体は200ccの容量が必要です(重さではなく、容量なのでご注意ください。スパゲッティでは150gくらい、生しいたけでは210gくらいなど、同じ容量でも食品によって重量が異なります。)

●検体はミキサーなどで細かく砕いておいてください

●測定済み検体と測定結果の受け取り方法は協議会とご相談ください

●食品に限ります

●無料です

測定場所：

小金井市立上之原会館
武蔵小金井駅北口5分

〒184-0004

東京都小金井市本町5-6-19